

SHARP®

インフォメーションディスプレイ

形名

PN-S655

PN-HS655

取扱説明書

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」(3ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

もくじ

安全にお使いいただくために	3	電源の入／切	13
使用上のご注意	5	主電源を入れる	13
付属品を確認する	6	電源を入れる／切る	13
各部の名前	6	電源の入／切の操作を禁止する	13
設置のしかた	8	故障かな？と思ったら	14
設置時の注意事項	8	アフターサービスについて	15
機器の接続	9	お客様ご相談窓口のご案内	16
コンピュータとの接続	9	主な仕様	17
AV 機器との接続	9		
その他の端子について	10		
外部スピーカーの接続	10		
複数台の接続のしかた	10		
電源の接続	11		
リモコンの準備	11		
電池の入れかた	11		
リモコンで操作できる範囲	11		
仮置きスタンドの取り外し	12		

本書では、主に接続や設置などについて記載しています。操作や設定などについては、付属の CD-ROM の manual フォルダ内の「操作マニュアル (PNS655_guide_Japanese.pdf)」で記載しています。「操作マニュアル」をご覧いただくためには、「Adobe Reader」が必要です。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- ※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。
PC/AV 出力端子、PC1/AV1 入力端子、PC2/AV2 入力端子、PC3 入力端子、PC4 入力端子、RS-232C 入力 / 出力端子

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号の意味 (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。



ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。



本機の裏ぶたを外さない。改造しない。内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。



本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらしたりしない。火災や感電の原因となります。本機の近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



アースを接続する。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アース接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。



電源コードは、必ず付属のものを使用する。
付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用する。



電源プラグは、コンセントに直接差し込む。
タコ足配線をする、過熱により火災の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。



火災や感電を防ぐために、次のことを守る。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。



ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



うつ伏せ、あお向け、逆さまにして使用しない。
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。



上にものを置いたり、上に乗ったりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。



液晶パネルを強く押ししたり、衝撃を与えたりしない。
液晶パネルに力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。



硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。
内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。)



乾電池の使用にあたっては、次のことを守る。
使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因となります。

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- プラス(+)とマイナス(-)の向きは、表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
- 消耗したときは、速やかに交換してください。
- 長時間使わないときは、電池を取り出してください。



乾電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受ける。
皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。



本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。
低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

お手入れのしかた

必ず主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

◆キャビネットの部分

- 汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

◆液晶パネルの部分

- 液晶パネルの表面は、柔らかい布（レンズクリーナーやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 液晶パネルにほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
- 液晶パネルの保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起り、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

周囲温度は 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください

低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

直射日光・熱気は避けてください

- 異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- キャビネットや部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品位が低下する場合があります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

海外では使用できません

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

■ 蛍光管について

- 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。画面が暗くなったり、チラツいたり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。この場合、主電源スイッチをいったん切り、5 秒以上たってから再度電源を入れ直して、動作を確認してください。

■ 個人情報の初期化について

本機には、メールアドレス等の個人情報を登録することができます。本機を譲渡・廃棄するときは、「オールリセット 1」を実行し、すべての設定を初期化してください。（操作マニュアル「オールリセット 2」では、メールアドレス等の設定が初期化されません。

■ 取扱説明書の表記について

- 本書は、PN-S655、PN-HS655 共通の取扱説明書です。
- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。

■ 商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Reader はアドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社リコーが製作、販売したりコービットマップフォントを搭載しています。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

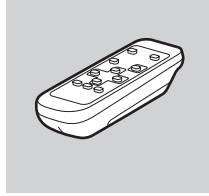
付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

□本体：1台



□リモコン：1個

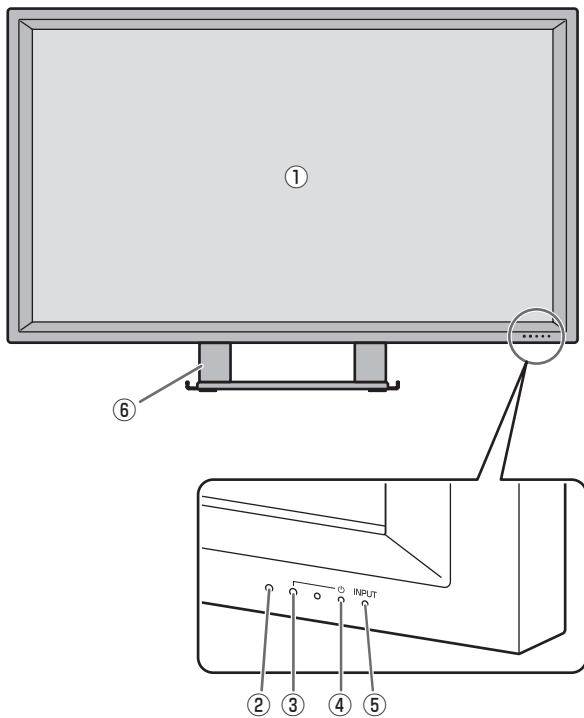


- 電源コード(約4m)：1本
- リモコン用乾電池(単3形)：2本
- CD-ROM (ユーティリティーディスク・Windows用)：1枚
- 取扱説明書(本書)：1部
- 保証書：1部
- スタンド穴保護用カバー：2枚

※ CD-ROM 内のユーティリティーの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

各部の名前

■ 前面

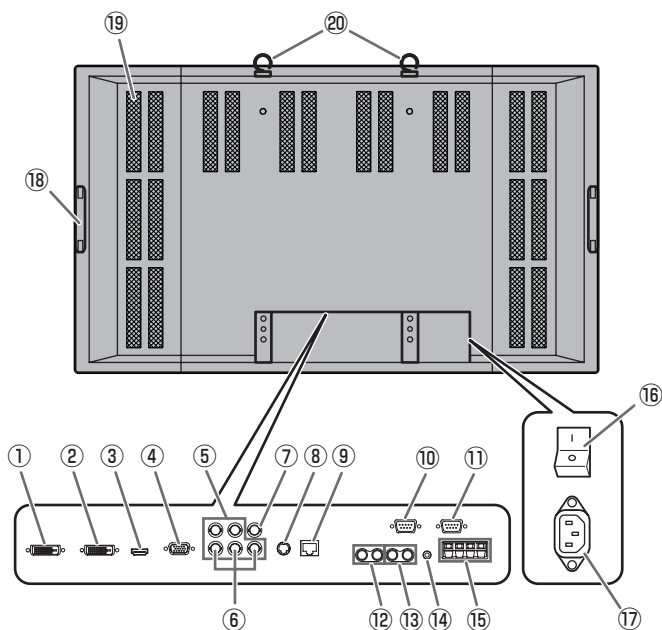


- ① 液晶パネル
- ② リモコン受光部 (11 ページ)
- ③ 電源ランプ (13 ページ)
- ④ POWER(電源)スイッチ (13 ページ)
- ⑤ INPUT(入力切換)スイッチ (操作マニュアル)
- ⑥ 仮置きスタンド (12 ページ)

ご参考

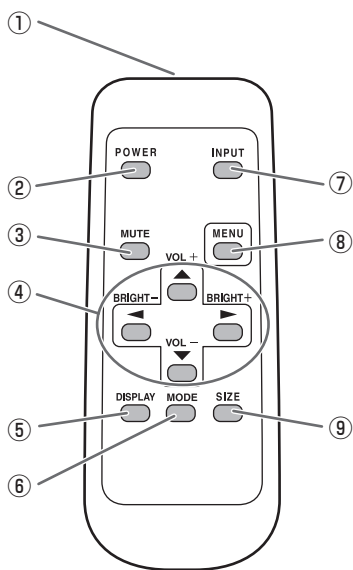
- 本機前面のスイッチは、ペン先などの先の細いもので操作してください。

■ 後面



- ① PC/AV 出力端子 (DVI-D) (10 ページ)
- ② PC1 入力端子 (DVI-D) (9 ページ)
AV1 入力端子 (DVI-D) (9 ページ)
- ③ PC2 入力端子 (HDMI) (9 ページ)
AV2 入力端子 (HDMI) (9 ページ)
- ④ PC3 入力端子 (ミニ D-sub15 ピン) (9 ページ)
- ⑤ PC4 入力端子 (BNC) (9 ページ)
- ⑥ AV3 入力端子 (BNC) (9 ページ)
- ⑦ AV5 入力端子 (BNC) (9 ページ)
- ⑧ AV4 入力端子 (S) (9 ページ)
- ⑨ LAN 端子 (10 ページ)
- ⑩ RS-232C 出力端子 (D-sub9 ピン) (10 ページ)
- ⑪ RS-232C 入力端子 (D-sub9 ピン) (10 ページ)
- ⑫ PC/AV 音声出力端子 (10 ページ)
- ⑬ AV 音声入力端子 (9 ページ)
- ⑭ PC 音声入力端子 (9 ページ)
- ⑮ 外部スピーカー端子 (10 ページ)
- ⑯ 主電源スイッチ (13 ページ)
- ⑰ 電源接続端子 (11 ページ)
- ⑱ 取っ手
- ⑲ 通風孔
- ⑳ フック

■ リモコン

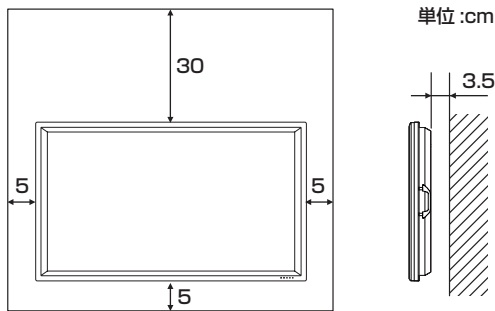


- ① 発信部
- ② POWER (電源) ボタン (13 ページ)
- ③ MUTE (消音) ボタン (操作マニュアル)
- ④ VOL + / - (音量調整) ボタン (操作マニュアル)
BRIGHT + / - (バックライト調整) ボタン (操作マニュアル)
カーソル (▲ / ▼ / ◀ / ▶) ボタン
- ⑤ DISPLAY (状態表示) ボタン (操作マニュアル)
- ⑥ MODE (カラーモード切換) ボタン (操作マニュアル)
- ⑦ INPUT (入力切換) ボタン (操作マニュアル)
- ⑧ MENU (メニュー) ボタン (操作マニュアル)
- ⑨ SIZE (画面サイズ切換) ボタン (操作マニュアル)

設置のしかた

設置時の注意事項

- 本機は重量がありますので、設置や取り外し、移動の際は
お買いあげの販売店にご相談ください。
- 設置や取り外し、移動の際は、2人以上で行ってください。
- 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用し
てください。
- 壁などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた
4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に
取り付けてください。
- 移動するときなどは、取っ手と本体底面部を持ってくださ
い。液晶パネルに手をかけないでください。破損や故障、
けがの原因となることがあります。
- 本機は水平面に対し垂直に設置してください。傾ける場合
は、20°までにしてください。
- 本機を壁掛けなどで使用する場合は、特別な技術による工
事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者にご依頼
ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでくだ
さい。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷につ
いては、当社は責任を負いません。
- 本機は周囲温度0℃～40℃の範囲内でご使用ください。
熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。



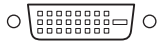
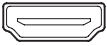
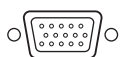


- ケースに入れて設置するなど空間の確保が困難な場合、周
囲温度が0℃～40℃を超える場合は、ケースにファンを
設けるなど、周囲温度が0℃～40℃になるよう対処して
ください。
- 通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上が
ると故障の原因となることがあります。
- 本機を設置した後は転倒防止策を実施することをお勧めし
ます。市販の丈夫なひもとフックなどの金具を使い、本体
上部のフックを壁や柱に固定してください。
- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。
- 工場出荷時に付いている仮置きスタンドは、本機を正しく
設置するまでの間、暫定的に使うものです。通常の設置に
は使えません。

機器の接続

！ ご注意

- 接続ケーブルの取り付け／取り外しは、主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- 接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。

コンピュータとの接続

映像入力	 PC1 入力端子	 PC2 入力端子
	 PC3 入力端子	 PC4 入力端子
音声入力	 PC 音声入力端子	

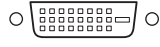




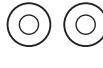
- PC1 入力端子には、市販の信号ケーブル (DVI-D 24 ピン) で接続します。PC1 入力端子を使うときは、機能切替メニューの「端子設定」の「DVI 端子選択」を「PC1 DVI-D」に設定してください。(操作マニュアル)
- PC2 入力端子には、市販の HDMI ケーブル (HDMI 規格認証品) で接続します。PC2 入力端子を使うときは、機能切替メニューの「端子設定」の「HDMI 端子選択」を「PC2 HDMI」に設定してください。また、機能切替メニューの「端子設定」の「HDMI 音声選択」で使用する音声入力端子を選んでください。(操作マニュアル)「HDMI 端子」を選んだ場合、PC 音声入力端子への接続は不要です。
- PC3 入力端子には、市販の信号ケーブル (ミニ D-sub 15 ピン) で接続します。
- PC4 入力端子には、市販の信号ケーブル (BNC) で接続します。PC4 入力端子を使うときは、機能切替メニューの「端子設定」の「BNC 端子選択」を「PC4 RGB」に設定してください。(操作マニュアル)
- PC 音声入力端子には、市販の音声ケーブル (ミニステレオジャック) で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。

ご参考

- 接続するコンピュータ (グラフィックボード) によっては、正しく表示されないことがあります。
- 解像度が 1920 × 1080 の画面を PC4 で表示させると、簡易表示になる場合があります。この場合、本機対応の信号タイミング (18 ページ) が入力されているかどうか、コンピュータ (グラフィックボード) の設定を確認してください。
- PC3 や PC4 でコンピュータの画面を初めて表示させたときや、そのコンピュータの設定を変更した後は、画面の自動調整を行ってください。(操作マニュアル) 機能切替メニューの「セルフアジャスト」が「する」の場合、自動で画面調整されます。(操作マニュアル)

- 接続先のコンピュータにセットアップ情報をインストールする場合は付属の CD-ROM 内の Readme ファイルをお読みください。

AV 機器との接続

映像入力	 AV1 入力端子	 AV2 入力端子	 AV3 入力端子 Cr/Pr Y Cb/Pb
	 AV4 入力端子	 AV5 入力端子	
音声入力	 AV 音声入力端子		

- AV1 入力端子には、市販の信号ケーブル (DVI-D24 ピン) で接続します。AV1 入力端子を使うときは、機能切替メニューの「端子設定」の「DVI 端子選択」を「AV1 DVI-D」に設定してください。(操作マニュアル)
- AV2 入力端子には、市販の HDMI ケーブル (HDMI 規格認証品) で接続します。AV2 入力端子を使うときは、機能切替メニューの「端子設定」の「HDMI 端子選択」を「AV2 HDMI」に設定してください。また、機能切替メニューの「端子設定」の「HDMI 音声選択」で使用する音声入力端子を選んでください。(操作マニュアル)「HDMI 端子」を選んだ場合、AV 音声入力端子への接続は不要です。
- AV3 入力端子には、市販のコンポーネントケーブル (BNC) で接続します。AV3 入力端子を使うときは、機能切替メニューの「端子設定」の「BNC 端子選択」を「AV3 コンポーネント」に設定してください。(操作マニュアル)
- AV4 入力端子には、市販の S 映像用ケーブルで接続します。
- AV5 入力端子には、市販のビデオ映像ケーブル (BNC) で接続します。
- AV 音声入力端子には、市販の音声ケーブル (RCA) で接続します。
- AV1/AV2 入力端子は、下記の映像信号に対応しています。
 - 1920 × 1080p @ 50/59.94/60Hz
 - 1920 × 1080i @ 50/59.94/60Hz
 - 1280 × 720p @ 50/59.94/60Hz
 - 720 × 576p @ 50Hz
 - 720 × 480p @ 59.94/60Hz
 - 640 × 480p @ 59.94/60Hz
- AV2 入力端子は、下記の映像信号にも対応しています。
 - 1920 × 1080p @ 24Hz
 - 720(1440) × 576i @ 50Hz
 - 720(1440) × 480i @ 59.94/60Hz
- AV3 入力端子は、下記の映像信号に対応しています。
 - 1080p @ 50/60Hz、1080i @ 50/60Hz、
 - 720p @ 50/60Hz、576p @ 50Hz、576i @ 50Hz、
 - 480p @ 60Hz、480i @ 60Hz

その他の端子について

PC/AV 音声出力端子

- AV 音声入力端子または PC 音声入力端子に接続された機器の音声が出力されます。市販の音声ケーブル（RCA）を使って、接続機器の音声入力端子に接続します。
- 出力される音声は、入力モードにより異なります。（操作マニュアル）
- 音量調整（操作マニュアル）で音量が調整できます。
- 機能切換メニューの「音声出力」で出力される音量を固定することができます。（操作マニュアル）
- PC/AV 音声出力端子から出力される音声を、音声調整メニューで調整することはできません。

PC/AV 出力端子

PC1 や AV1 の映像を外部機器に出力できます。DVI ケーブル（市販品）を使って、複数台を数珠つなぎする場合などに使います。（右記）

HDCP により暗号化された映像を出力する場合、HDCP 対応の外部機器が必要です。

下記の場合、映像を出力することはできません。

- 入力モードが PC2/AV2 のとき
- PIP/PbyP メニューの「サブ画面入力信号」が「PC2 HDMI」または「AV2 HDMI」のとき

RS-232C 入力／出力端子

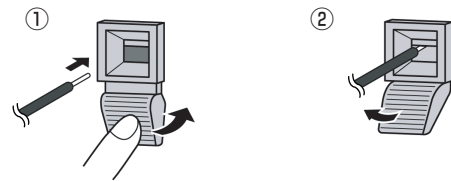
市販の RS-232C ストレートケーブルを使ってコンピュータに接続すると、本機をコンピュータから制御することができます。（操作マニュアル）

LAN 端子

市販の LAN ケーブルを使ってネットワークに接続すると、本機をネットワーク上のコンピュータから制御することができます。（操作マニュアル）

外部スピーカーの接続

外部スピーカーには必ずインピーダンス 6 Ω、定格入力 7W 以上のものをお使いください。



1. ツマミを押しながら、ケーブルの先端を穴に差し込む。
2. ツマミを離す。

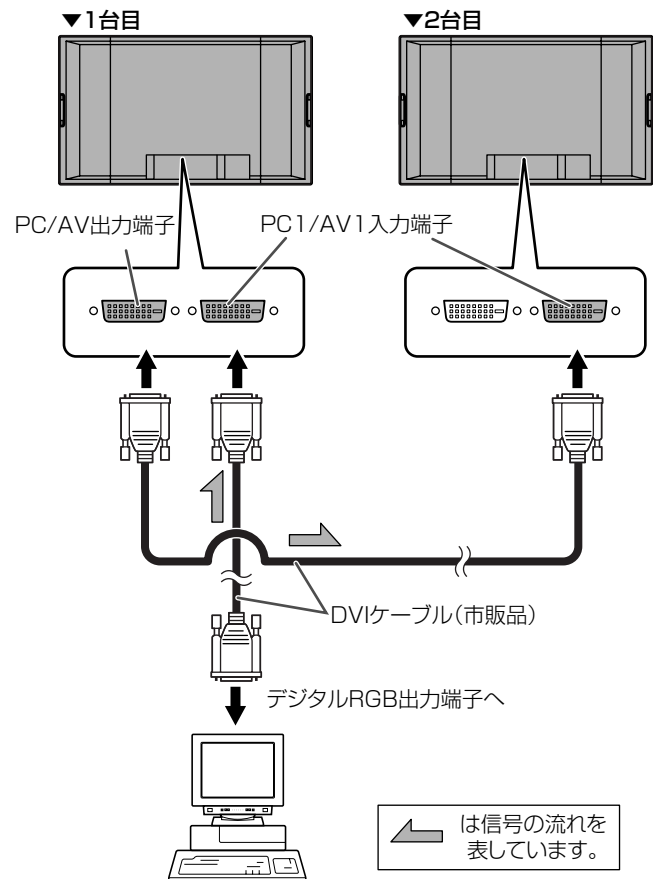
ご参考

- ・ + と -、左と右を間違えないよう注意してください。
- ・ + と - をショートさせないでください。

複数台の接続のしかた

本機の PC1/AV1 入力端子と PC/AV 出力端子を使って、本機を複数台（最大 5 台）数珠つなぎすることができます。

接続例



ご参考

- ・ 接続するケーブルの長さや周囲の環境などにより、画質が劣化することがあります。
- ・ 入力モードが PC1/AV1 以外のとき、画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、数珠つなぎしているディスプレイすべての電源を入れ直してください。
- ・ 数珠つなぎするときは、「自動入力切換」を「しない」に設定してください。

電源の接続

！ご注意

- 電源コードは必ず付属のものを使用してください。



アースを接続する。

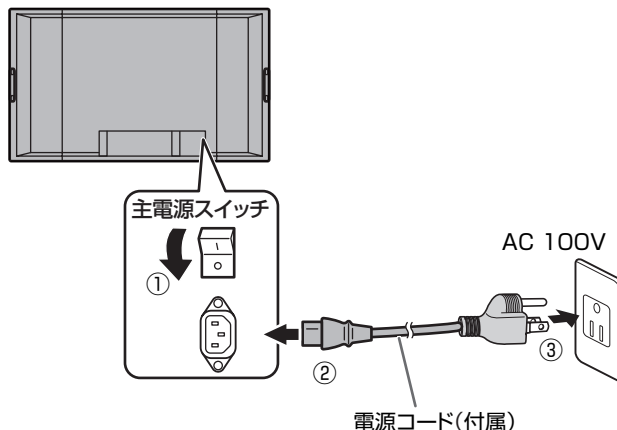
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。

指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

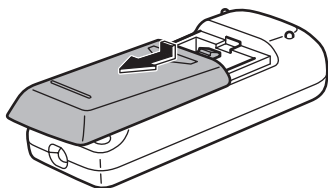
1. 主電源スイッチを「切」にする。
2. 電源コード（付属）を電源接続端子に差し込む。
3. 電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込む。



リモコンの準備

電池の入れかた

1. カバーを軽く押し下げ、矢印の方向へ押す。



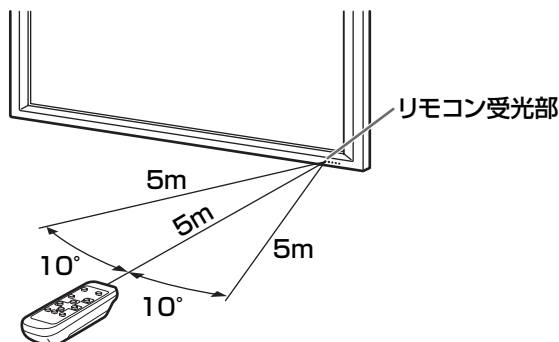
2. 付属の乾電池（単3形×2本）をリモコンに入れる。
リモコン内部の表示に従って、プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れてください。
3. カバーを元に戻す。

ご参考

- 付属の乾電池（単3形×2本）は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池（市販品）と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約 5m、上下左右に約 10° 以内です。



ご参考

- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

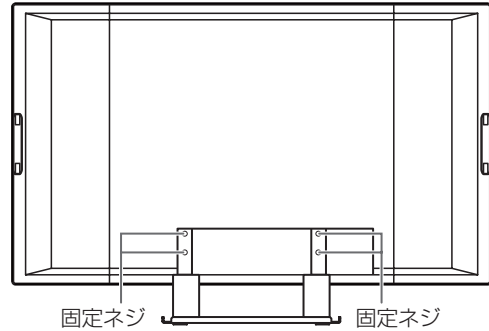
仮置きスタンドの取り外し

インフォメーションディスプレイを取り付けて使用する壁掛け金具やスタンドなどを用意してください。取り付け方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。（本体の後面には、取り付け金具用ネジ穴（ネジ M10×4 力所）があります。）

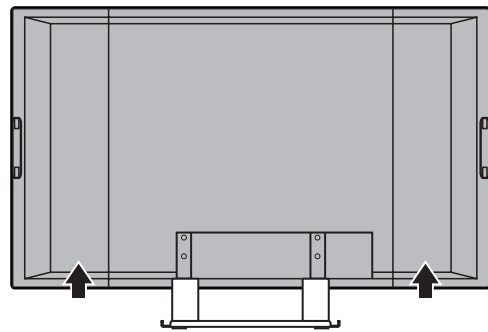
！ご注意

- 重量があります。2人以上で作業してください。
- 工場出荷時に付いている仮置きスタンドは、本機を正しく設置するまでの間、暫定的に使うものです。通常の設置には使えません。
- 仮置きスタンドは本機専用です。他の機器で使用しないでください。

1. 本体が倒れないように取っ手を持って支えながら、スタンド固定ネジ（4本）を外す。

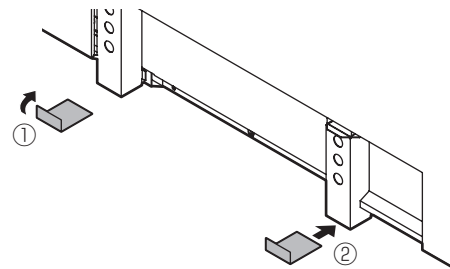


2. 取っ手と底面部を持って本体を上引き上げる



3. 設置が終了した後、付属のスタンド穴保護用カバーを付ける。

- ① のりの付いた面を本体に向けて直角に折ります。
- ② シールをはがし、本体に貼ります。

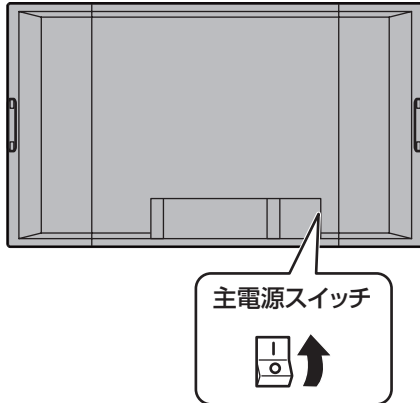


電源の入／切

！ご注意

- 本機の電源を入れた後に、コンピュータや再生機器の電源を入れてください。

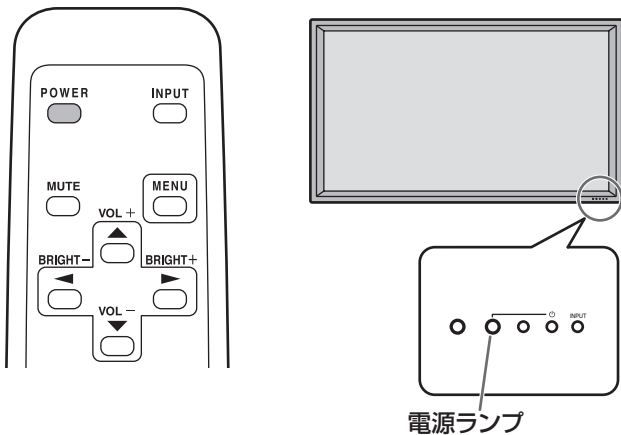
主電源を入れる



主電源が「切」の場合、POWER（電源）ボタンで電源を入れることはできません。

電源を入れる／切る

リモコンの POWER(電源) ボタンを押すたびに、電源を入／切することができます。



電源ランプの状態	本機の状態
緑色点灯	電源「入」
オレンジ色点灯	電源「切」(電源待機状態)
緑色点滅	入力信号待機状態 (PC 入力時)

！ご注意

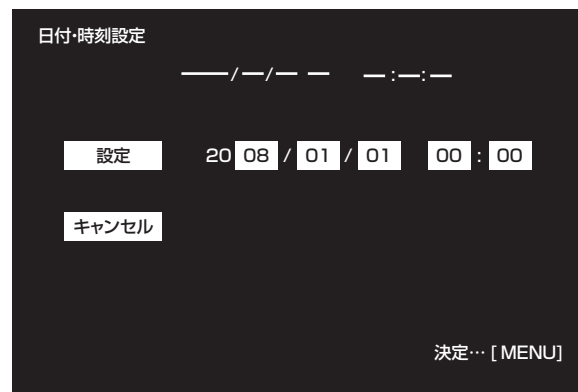
- 電源の切／入は、必ず約 5 秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

ご参考

- 入力信号待機状態のときに POWER（電源）ボタンを押すと、電源待機状態になります。
- 本体の POWER（電源）スイッチを押しても、電源を入／切できません。
- スケジュールを設定すると、電源待機状態の電源ランプは、赤色とオレンジ色の交互に点滅します。
- 「スタンバイモード」を「スタンダード」に設定すると、起動時間を短くすることができます。ただし、電源待機状態での消費電力が増えます。

■ 時計の設定について

- 初めて電源を入れたときなど、時刻が設定されていないときは、日時設定の画面が表示されます。日付と時刻を設定してください。



① ◀ ▶ ▲ ▼ で項目を選び、▲ ▼ で数値を変える。

② ◀ ▶ で「設定」を選び、MENU を押す。

- 必ず日付と時刻を設定してください。
- 日時設定の画面は約 15 秒操作がないと消えます。日時設定の画面が消えたときは、機能切替メニューの「日付・時刻設定」で設定できます。

ご参考

- 時刻は 24 時間制で設定してください。
- 主電源が切れた状態が約 1 週間 * 続くと、時計が止まります。その場合は、電源を入れたときに日時設定の画面が表示されますので、日付と時刻を設定してください。(* 目安です。本機の状態により異なります。)

電源の入／切の操作を禁止する

誤操作などで電源が切れないよう、電源の入／切の操作を禁止することができます。特別機能メニューの「調整ロック」を「2」に設定します。(操作マニュアル)

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
アフターサービスについては 15 ページをご覧ください。

映像も音声も出ない

- 電源コードは正しく接続されていますか。(11 ページ)
- 主電源スイッチが「切」になっていませんか。(13 ページ)
- 電源待機状態になっていませんか(電源ランプがオレンジ色に点灯)。(13 ページ)
- 入力切替は正しく選択されていますか。(操作マニュアル)
- 外部機器を接続している場合、機器側が動作(再生)状態になっていますか。

リモコンが動作しない

- 電池の極性(+、-)が逆になっていませんか。(11 ページ)
- リモコンの乾電池が消耗していませんか。(11 ページ)
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。(11 ページ)
- メニュー表示を非表示にしたり、操作を禁止していませんか。(操作マニュアル)

音が左右逆になる

片方しか音が出ない

- 音声用のケーブルは正しく接続されていますか。(9 ~ 10 ページ)
- 外部スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていませんか。(10 ページ)
- 音声調整メニューの「バランス」の設定を確認してください。(操作マニュアル)

映像は出るが音が出ない

- 消音になっていませんか。
- 音量調整が最小になっていませんか。
- PC オーディオケーブル(市販品)や音声(RCAピン)ケーブル(市販)は接続されていますか。
- 選択されている映像入力端子に対応した音声入力端子に音声を入力していますか。
- PC2 や AV2 の場合、「HDMI 音声選択」の設定は正しいですか。(操作マニュアル)

映像が乱れる

- 対応可能な信号でない場合が考えられます。
- PC3 入力端子や PC4 入力端子を使っている場合、画面の自動調整を行ってみてください。

PC1 や AV1 が正しく表示できない

- 「DVI 端子選択」の設定は正しいですか。(操作マニュアル)
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(9 ページ、18 ページ)
- 接続機器の電源を入れ直してください。
- 数珠つなぎしているときは、数珠つなぎしているディスプレイすべての電源を入れ直してください。

PC2 や AV2 が正しく表示できない

- 「HDMI 端子選択」の設定は正しいですか。(操作マニュアル)
- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(9 ページ、18 ページ)

PC4 や AV3 が正しく表示できない

- 「BNC 端子選択」の設定は正しいですか。(操作マニュアル)
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(9 ページ、18 ページ)

操作ボタンが効かない

画面に何も映らない

- 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の主電源を入れ直し、動作を確認してください。

入力モードが自動的に変わる


- 「自動入力切替」が「する」のとき、映像信号の入力が無くなると自動的に映像信号のある入力モードに変わります。そのため、下記のような場合でも入力モードが変わる場合があります。
 - コンピュータがシステムスタンバイ状態になった場合
 - 再生機器で映像の再生を停止した場合

電源ランプが赤色に点滅している

画面の隅に「ステータス [xxxx]」と表示されている

- ハードウェアの異常です。電源を切った後、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼してください。(「ステータス表示」が、「OSD & LED」のとき。設定により異なります。)

「自動低減中」と表示されている

- 本体の内部温度が高温になり、温度上昇を防止するため、バックライトの輝度が自動的にさがります。この場合、 で明るさを調整しても「自動低減中」と表示され、明るさを変えることはできません。
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅している

画面の隅に「モニター温度」と表示されている

- 温度異常を防止するため、本体の内部温度が高温になると、バックライトの輝度が自動的にさがります。その場合画面には、「モニター温度」と表示され、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。(「温度異常表示」が「OSD & LED」のとき。設定により異なります。)
- さらに内部温度が上昇すると、本機は自動的に電源待機状態になります。(電源ランプは赤色と緑色の交互に点滅します。)
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。
 - 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。(8 ページ)
 - 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本体後面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
 - 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこりはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にてご相談ください。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（14ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（16ページ）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・品名：インフォメーションディスプレイ
- ・形名：PN-S655/PN-HS655
- ・ご購入日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・お名前
- ・電話番号
- ・訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（16ページ）にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようおかけください。

＜シャープサポートページ＞
<http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/>



使いかたのご相談など

使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社ビジネスソリューション事業本部

03-3260-8333	〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8番地
0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）



修理のご相談など

（修理ご相談窓口）（沖縄地区を除く）

シャープドキュメントシステム株式会社



0570-00-5008（全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。）
（※携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…

沖縄シャープ電機株式会社 **098-861-0866**
（月曜～金曜：9:00～17:30）
（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）



持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|---|---|---|--|---|---|---|---|---|--|--|---|--|---|---|--|---|--|--|--|--|---|---|---|---|--|--|---|--|---|---|--|---|--|---|---|---|---|
| 北海道 札幌技術センター (011)641-0751
〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17
函館出張所 (0138)52-5190
〒040-0001 函館市五稜郭町31-17
帯広出張所 (0155)21-2881
〒080-0011 帯広市西1条南26-19-1
旭川技術センター (0166)22-8284
〒070-0031 旭川市一条通4-左10 | 青森 青森技術センター (017)738-7778
〒030-0121 青森市妙見3-3-4
八戸出張所 (0178)45-2631
〒031-0802 八戸市小中野2-8-16 | 岩手 岩手技術センター (019)638-6085
〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1 | 秋田 秋田技術センター (018)865-1258
〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56 | 宮城 仙台技術センター (022)288-9161
〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27 | 福島 福島技術センター (024)959-1421
〒963-0547 郡山市喜久田町卸3-27-2 | 新潟 新潟技術センター (025)284-6023
〒950-0965 新潟市中央区新光町9番2
長岡出張所 (0258)23-1850
〒940-1104 長岡市撰田屋町字崩2600 | 栃木 宇都宮技術センター (028)634-0256
〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41 | 群馬 前橋技術センター (027)252-7311
〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7 | 茨城 水戸技術センター (029)243-0909
〒310-0851 水戸市千波町1963 | 埼玉 埼玉技術センター (048)666-7148
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-107-2
埼玉西技術センター (049)285-7294
〒350-2211 鶴ヶ島市脚折町3-14-20
埼玉東技術センター (048)979-6459
〒343-0804 越谷市南荻島346-1 | 千葉 千葉技術センター (043)299-8855
〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西千葉技術センター (047)368-8346
〒270-2231 松戸市穂台6-6-1 | 東京 東京フィールドサポートセンター
ソリューションシステム技術部
サポートセンター (03)3624-7476
〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3
西東京技術センター (042)548-1931
〒190-0023 東京都立川市柴崎町6-10-17 | 山梨 山梨出張所 (055)228-3833
〒400-0049 甲府市富竹2-1-17 | 神奈川 横浜技術センター (045)753-9540
〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23 | 長野 松本技術センター (0263)85-4118
〒399-0031 松本市芳川小屋84-1
長野出張所 (026)293-6360
〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1 | 富山 富山技術センター (076)451-3933
〒930-0997 富山市新北庄町5-6-3 | 石川 金沢技術センター (076)249-9033
〒921-8801 石川県野々市町御経塚4-103 | 福井 福井出張所 (0776)53-6050
〒918-8206 福井市北四ツ居町625 | 岐阜 岐阜技術センター (058)274-7996
〒500-8358 岐阜市六条南3-12-9 | 静岡 静岡技術センター (054)344-5621
〒424-0067 静岡市清水区島坂1170-1
沼津出張所 (055)924-1028
〒410-0062 沼津市宮前町11-4
浜松技術センター (053)423-1660
〒435-0051 浜松市東区市野町2565-1 | 愛知 名古屋技術センター (052)332-2758
〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5
豊橋技術センター (0532)54-1830
〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1
岡崎出張所 (0564)33-7178
〒444-0904 岡崎市西大友町字杭穴90-1 | 三重 三重技術センター (059)231-1573
〒514-0131 津市あかつい4-6-4 | 京都 京都技術センター (075)681-9551
〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48 | 大阪 大阪フィールドサポートセンター (06)6794-9671
〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
北大阪出張所 (072)634-4683
〒567-0831 茨木市鮎川5-15-3
堺技術センター (072)221-0451
〒590-0048 堺市堺区一条通16-8 | 和歌山 和歌山出張所 (073)445-6298
〒641-0031 和歌山市西小二里2-4-91 | 兵庫 阪神技術センター (06)6421-2304
〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10
神戸技術センター (078)795-6336
〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-15-2
姫路出張所 (079)266-8295
〒671-2222 姫路市青山5-7-7 | 奈良 奈良技術センター (0743)53-2023
〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492 | 島根 松江技術センター (0852)21-6110
〒690-0017 松江市西津田3-1-10 | 鳥取 鳥取出張所 (0857)28-4222
〒680-0942 鳥取市湖山町東4-27-1 | 岡山 岡山技術センター (086)292-5830
〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828 | 広島 広島技術センター (082)874-6100
〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
東広島技術センター (082)428-3065
〒739-0142 東広島市八本松東4-3-30
福山技術センター (084)952-0736
〒720-0841 福山市津之郷町津之郷272-1 | 山口 山口技術センター (083)972-4525
〒754-0024 山口市小郡若草町4-12 | 香川 高松技術センター (087)823-4980
〒760-0065 高松市朝日町6-2-8 | 徳島 徳島出張所 (088)625-8840
〒770-0813 徳島市中常三島町3-11-14 | 高知 高知技術センター (088)883-7039
〒781-8104 高知市高須1-14-43 | 愛媛 松山技術センター (089)973-0121
〒791-8036 松山市高岡町178-1 | 福岡 福岡技術センター (092)572-2617
〒812-0881 福岡市博多区井田2-12-1
南福岡出張所 (0942)45-4551
〒839-0812 久留米市山川安居野3-12-47
北九州技術センター (093)592-6510
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町6-12 | 大分 大分技術センター (097)552-2164
〒870-0913 大分市松原町3-5-3 | 長崎 長崎技術センター (0957)53-3858
〒856-0817 大村市古賀島町613-3 | 熊本 熊本技術センター (096)237-5353
〒861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227-78 | 鹿児島 鹿児島技術センター (099)259-0628
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1 | 宮崎 宮崎技術センター (0985)28-8371
〒880-0851 宮崎市港東1-3-2 |
|--|--|---|---|--|---|---|---|--|---|---|---|---|---|--|--|---|--|---|---|--|---|--|--|--|--|---|---|---|---|--|--|---|--|---|---|--|---|--|---|---|---|---|

沖縄シャープ電機株式会社 <受付時間>月曜～金曜：9:00～17:30（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）
沖縄 沖縄シャープ電機（株）(098)861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2009.3)

主な仕様

製品仕様

形名	PN-S655/PN-HS655			
液晶表示素子	65V型ワイド(対角163.9cm)ASV低反射ブラックTFT液晶			
最大解像度	1920×1080			
最大表示色	1677万色(8ビット)			
画素ピッチ	水平0.744mm×垂直0.744mm			
最大輝度	420cd/m ² ※5			
コントラスト比	2000:1			
視野角	左右176°/上下176°(コントラスト比≥10)			
表示画面サイズ	横1428mm×縦804mm			
映像入力信号	デジタルDVI規格1.0準拠、アナログRGB(0.7Vp-p) [75Ω]			
同期入力信号	水平/垂直セパレート(TTL:正/負)、シンク・オン・グリーン、コンポジット・シンク(TTL:正/負)			
ビデオ信号方式	NTSC(3.58MHz)			
プラグ&プレイ	VESA DDC2B対応			
パワー・マネージメント	VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠			
入力端子	PC/AV	デジタル	DVI-D24ピン(HDCP対応)(1系統) HDMI(1系統)	
		アナログ	ミニD-sub 15ピン(3列)(1系統) BNC(1系統) ※1 ※2	
	PC	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)	
		ビデオ映像	BNC(1系統)	
		S映像	1系統	
		コンポーネント映像	BNC(Y, Cb/Pb, Cr/Pr)(1系統) ※1	
	AV	音声	RCAピン(L/R)(1系統)	
		シリアル(RS-232C)	D-sub9ピン(1系統)	
	出力端子	PC/AV	デジタル	DVI-D24ピン(1系統)
			音声	RCAピン(L/R)(1系統)
シリアル(RS-232C)		D-sub9ピン(1系統)		
スピーカー		7W+7W [6Ω]		
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX			
電源	AC100V 50/60Hz			
使用温度条件	0~40℃			
使用湿度条件	20~80%(結露なきこと)			
消費電力	480W、入力信号待機時14W ※3、電源待機時1.5W ※4			
外形寸法	幅約1572mm×奥行約126mm×高さ約923mm(突起部を除く)			
質量	約62kg(仮置きスタンド含まず)			
梱包時寸法/質量	幅約1720mm×奥行約575mm×高さ約1190mm/約90kg			

※1 同時に使用することはできません。

※2 プラグ&プレイには対応していません。

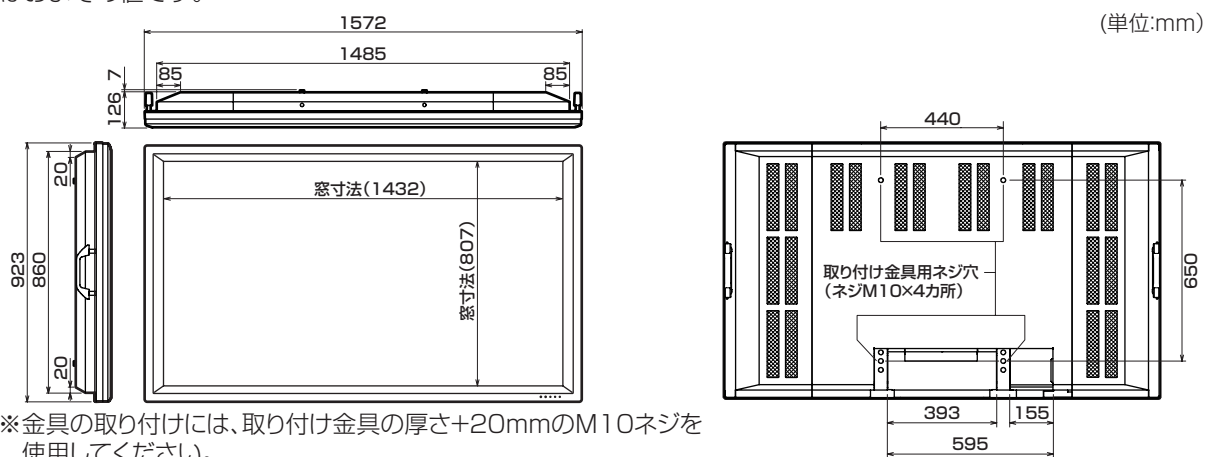
※3 「自動入力切換」が「しない」の場合。

※4 「スタンバイモード」が「ローパワー」で、LAN・スケジュールを使用していない場合。「スタンバイモード」が「スタンダード」の場合は14W。

※5 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

寸法図

数値はおよその値です。



※金具の取り付けには、取り付け金具の厚さ+20mmのM10ネジを使用してください。

■ PC 対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	デジタル		アナログ(PC3/PC4)
					DVI(PC1)	HDMI(PC2)	
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz	○	○	○
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz	○	○	○
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz	○	○	○
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz	—	—	○
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz	○	○	○
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz	○	○	○
	848×480	46.9kHz	75Hz	49.5MHz	○	○	○
		31.0kHz	60Hz	33.75MHz	○	—	○
		48.4kHz	60Hz	65.0MHz	○	○	○
	1024×768	56.5kHz	70Hz	75.0MHz	○	○	○
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz	○	○	○
		67.5kHz	75Hz	108.0MHz	○	○	○
	1280×768	47.8kHz	60Hz	79.5MHz	○	—	○
		60.3kHz	75Hz	102.25MHz	○	—	○
		60.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	○	○
	1280×960	64.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	○	○
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz	○	○	○
		47.7kHz	60Hz	85.5MHz	○	○	○
1400×1050	65.3kHz	60Hz	121.75MHz	○	○	○	
	75.0kHz	60Hz	162.0MHz	○	○	○	
	65.3kHz	60Hz	146.25MHz	○	○	○	
1600×1200*1	65.3kHz	60Hz	146.25MHz	○	○	○	
	74.0kHz	60Hz	154.0MHz	○	○	○	
	67.5kHz	60Hz	148.5MHz	○	○	○	
ワイド	1280×720	44.7kHz	60Hz	74.4MHz	○	○	○
		66.3kHz	60Hz	148.5MHz	○	○	○
		67.5kHz	60Hz	148.5MHz	○	○	○
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz	○	○	○
		48.3kHz	60Hz	64.13MHz	—	—	○
		53.6kHz	66Hz	70.4MHz	—	—	○
Sun	1024×768	56.6kHz	70Hz	74.25MHz	—	—	○
		61.8kHz	66Hz	94.88MHz	—	—	○
		71.8kHz	76.2Hz	108.23MHz	—	—	○
	1280×1024	71.7kHz	67.2Hz	117.01MHz	—	—	○
		81.1kHz	76Hz	134.99MHz	—	—	○
		68.6kHz	66Hz	135.76MHz	—	—	○

*1縮小して表示します。

※ すべてノンインターレースのみの対応です。

※ 接続するコンピュータによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

※ Sun の各周波数は参考値です。

■ パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM に準拠しています。本機のパワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピュータも同規格に適合している必要があります。

DPMS : Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	480W	あり	あり
STANDBY	無表示	14W*	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM : Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	480W
Active OFF	無表示	14W*

※「自動入力切替」が「しない」の場合。

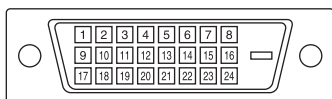
■ DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESA の DDC (Display Data Channel) 規格をサポートしています。

DDC とは、ディスプレイとコンピュータのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

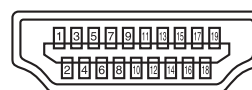
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

■ PC1/AV1 入力端子のピン配列
(DVI-D 24ピン)



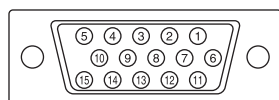
番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2-	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0-
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1-	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック-

■ PC2/AV2 入力端子のピン配列
(HDMI™ Connector)



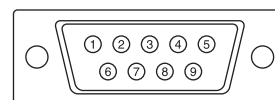
番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2+	11	TMDSクロックシールド
2	TMDSデータ2シールド	12	TMDSクロック-
3	TMDSデータ2-	13	CEC
4	TMDSデータ1+	14	N.C.
5	TMDSデータ1シールド	15	SCL
6	TMDSデータ1-	16	SDA
7	TMDSデータ0+	17	DDC/CEC GND
8	TMDSデータ0シールド	18	+5V
9	TMDSデータ0-	19	ホットプラグ検知
10	TMDSクロック+		

■ PC3 入力端子ピン配列
(ミニ D-sub 15ピン)



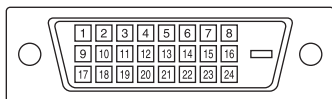
番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ RS-232C 入力端子のピン配列
(D-sub 9ピン)



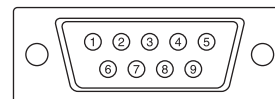
番号	機能	番号	機能
1	N.C.	6	N.C.
2	送信データ	7	N.C.
3	受信データ	8	N.C.
4	N.C.	9	N.C.
5	GND		

■ PC/AV 出力端子のピン配列
(DVI-D 24ピン)



番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2-	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0-
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1-	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック-

■ RS-232C 出力端子のピン配列
(D-sub 9ピン)



番号	機能	番号	機能
1	N.C.	6	N.C.
2	受信データ	7	N.C.
3	送信データ	8	N.C.
4	N.C.	9	N.C.
5	GND		



「よくあるご質問」などは
ホームページをご活用ください。



シャープサポートページ

<http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/>



使いかたのご相談など

使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社ビジネスソリューション事業本部

03-3260-8333	〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8番地
0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日など弊社休日は
休ませていただきます。）



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープドキュメントシステム株式会社



0570-00-5008（全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
・携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…

沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866
（月曜～金曜：9:00～17:30）
（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

●電話番号・受付時間などは変わることがあります。（2009.3）

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地